

北雪時代鏡  
美談

十四編上

非題曲五國

〜13  
3740  
27

新抄





寺代十四

己の稿稿成  
午の春葦帯  
為永  
春水誌易

軒端... 燈籠... 提げ... 稚幼... 盆唄... 調... 頃... 米陽の... 新販の仕... 必... 急... 前... され...  
 何れ... 消... 如... 其... 意... 分... 解... せ... ば... 是... 何... 何...  
 合... 書... 房... 息... 切... 筆... 促... せ... ば... 死...  
 荒... 地... 因... 果... 坊... 物... 語...  
 説... 出... せ... ば... 可... 也...

門 へ13  
號 3740  
巻 27

為永春水作  
川國貞画  
歌

# 時氏鏡十四編之

若林堂發行



中  
の  
荒  
地  
の  
息  
女  
十  
六  
夜  
姫







せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ

寺  
ヤ  
一  
日



りさつあひの  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ



つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ

月  
十  
一  
日



りさつあひの  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ  
 せんそあめあ  
 つらいつらいつ



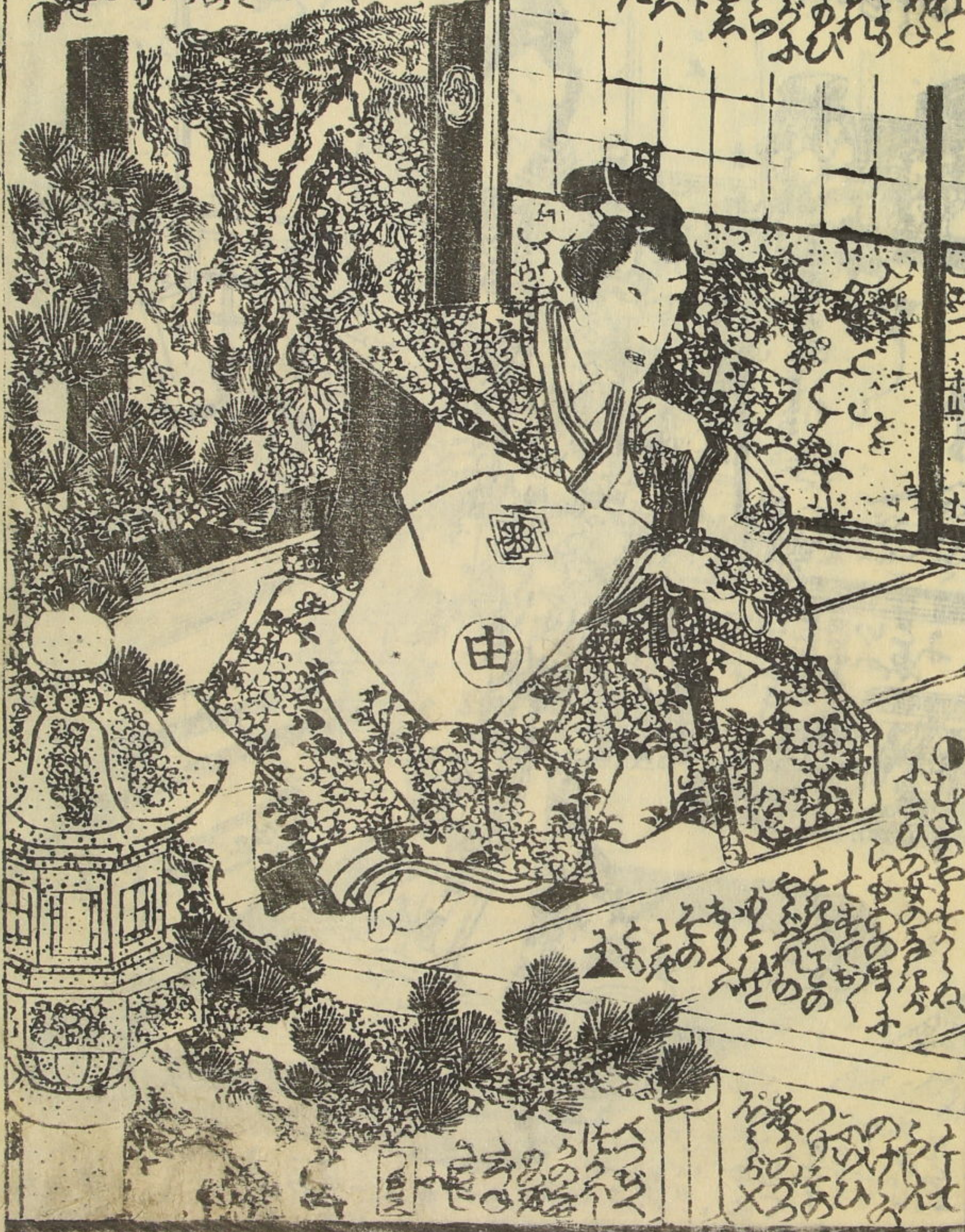
井ノ口  
井ノ口  
井ノ口





Handwritten text in kuzushiji script, likely a preface or introductory text, spanning across the top of both pages.

寺  
七  
四



Handwritten text in kuzushiji script, located below the woman on the left page.

寺  
七  
四

Handwritten text in kuzushiji script, located at the bottom of the left page.

Handwritten text in kuzushiji script, continuing from the top of the left page.



寺  
七  
四

甲  
七  
四

寺  
七  
四







